全

三年

画数 6
筆順 ⺅ 亼 今 全
オン ゼン
クン まったく

成り立ち

玉（1年16）をつなげた形をあらわした字で、玉の元の字である〝王〟に、屋根の形をあらわした〝⺅〟をくわえて作った字で、「山からほり出された〝玉〟の原石がみがかれてりっぱな宝石（宝6年993）になり、家の中におさめられていること」をあらわしていて、「宝石の〝まことにみごと〟なこと」をあらわした字です。

〝まことにみごと〟なことから「欠けたところがない（むかしのことばでは〝まった＝し〟といいます）」といういみにつかわれるようになり、今では、〝まった＝く〟というつかい方から、〝すべて（全体）〟といういみにもつかわれます。

使い方

▽ぼくの愛犬のポチは、全くかわいい犬です。ぼくがボールを投げると、走って行って取って来るのです。

▽ぼくは、きのう、おとうさんが帰って来たのを全く知りませんでした。おとうさんは、時々、しごとで帰りがおそくなるのです。

熟語例

▽全部（すべての部分。「出された食べ物は、全部食べるようにした方が良いのです。そうしないと栄養がかたよって、じょうぶな体になれません」など）

▽全員（全部の人。『全部の員数』といういみです。「全員そろったら出かけよう」などというふうに、つかいます。）

▽全額（全部の金額。「ローンを全額はらい終えた」などというふうに、つかいます。）

▽全力（全部の力。「全力をつくして、勝負する」などというふうに、つかいます。）

▽全世界（世界中、全部。「全世界の富を集めても、かなわないほど、大切なものがあります。それは、家族どうしの愛と信頼です」などと、つかいます。）

相

三年

画数 9
筆順 一 十 木 相 相 相 相 相 相
オン ソウ・ショウ
クン あい

成り立ち

〝木〟と〝目〟とを組み合わせて作った字です。むかしは、家具や道具はみんな〝木〟で作りましたから木の性質や形をよく〝見〟て、それにおうじた用い方をしました。それで、「物をよく〝見る〟こと」を〝木〟と〝目〟とで表したものです。「物をよく見る」といういみから、「見て取った様子（ありさま）」のいみに使われます。例世相、人相。

「あいみる」という使い方から、ことばの上につけて「あい……」といって、そのことばのいみを強めるのに使われます。例相すみません、相互（相互）。

また、「政治をよく見る人」である〝大臣〟のいみに使われます。例首相、文相。

使い方

▽ぼくのおねえさんは、人相や手相の話が大好きです。頭脳線や運命線がどうだとか、目や鼻の形がどうだからどうしたとか、しきりと言います。ぼくは本当に人相や手相でその人の運命がわかるのかしらと思います。でも、やはり人相の悪い人を見たら避けたくなりますけれど。

熟語例

▽世相（世の中のありさま。「近ごろの世相は、むかしとは全く変わってしまった」などというふうに、つかいます。）

▽人相（人の顔つき。また、顔つきによって、その人の運勢を占う方法。「あの人は本当に良い人相だ」などというふうに、つかいます。）

▽相互（あいたがい。おたがい。「相互の利益になるように、考えよう」などというふうに、つかいます。）

▽首相（総理大臣）

▽文相（文部大臣）

▽相棒（いっしょに仕事をする人。もとは、かごをいっしょにかつぐ人のことでした。）